

令和4年度 国語 科  
 教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
α 古典B	古典B	2	A C D E F	1	必修選択	35 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義
教科書	古典B 改訂版 古文編, 大修館書店
使用教材等	基礎からの総合トレーニング 古典2演習JUMP編, Learn-S 新版五訂 完全マスター古典文法, 第一学習社 読んで見て覚える古文単語315三訂版, 桐原書店

科目の目標・内容等

学習目標	古典を読むうえで必要な力を養うとともに, 思考力を伸ばし, 古典を通して人生を豊かにする態度を育成すること。
学習における留意点	予習されていることを前提に授業を進める。板書・解説は自分なりの工夫でノートに書き留める。
予習・復習	テキストの音読、語句調べ、文法事項を確認して設問に解答する。
評価方法	学期末に行う定期考査を基本とする。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	用言の総復習 動詞の活用、形容詞・形容動詞の活用	動詞の活用を総復習し、係り結びや助動詞の接続など、既習の内容にも適宜触れながら、定着を図る。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力
2	助動詞総復習	助動詞を体系的に覚える。 接続、意味、活用形などを正確に覚え、助動詞の意味に忠実に訳せるようにする。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力
3	敬語 助詞 紛らわしい語の識別	敬語の種類を確実に覚え、敬意の方向も理解したうえで正確に訳せるようにする。 格助詞や接続助詞、係助詞等を中心に学習する。 「なむ」「なり」「る」「に」などの識別ができるようにする。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。